

そもそも大空凧プロジェクトって…?

高須地区で行われていたという八畳凧の存在を知った芸術家的心に火がつき始まったプロジェクト。高須のみなさんに協力いただきながら、高須ハウスの夢として、八畳凧の復活を目指すプロジェクトです。

TAKASU HOUSE



お久しぶり、かつ新装となるかわら版 2021 では、凧をめぐるわたしたちの活動をお届けしていきます！

2015年



高須公民館で新春凧作りにディレクターとスタッフ（子連れ）が参加。
高須地区で行われてきた凧づくりの会のお父さんたちの指導を受ける。

2013年



取手ゆかりのアーティストと協働して取り組む耕作放棄地利活用事業の一環として和紙作りに着手。高須探検隊と題し、半農半芸にかかるアーティストとともに高須地区を散策、高須の歴史の深さに圧倒される。



2021年



植物から絵具を作る試みがスタート。
技術的に可能になれば、
高須のものからできた絵具をつくりたい、
と考えるようになる。

スタート

2011年



高須公民館に飾られている八畳凧の写真を発見。
高須にある素材を使っていつか八畳凧を揚げたい！
という思いが沸き起る。



2022年1月に八畳凧を揚げる「大空凧プロジェクト」が始動しています。
高須のみなさんにご協力いただきたく、プロジェクトのこれまでとこれからをご紹介します！

題字：幅谷

目指すは2022年1月下旬の凧あげ！

高須の皆さんにご協力いただきたいこともご案内しています。
ぜひ一緒に凧を追っていただけたらうれしいです。

こんにちは、取手アートプロジェクト(TAP)の幅谷です。
(みのりランチ月報ではお世話になっています～！)
コロナウイルスの収束が本当に待ち遠しい中、
本年度、取手アートプロジェクト《半農半芸》は、
2013年からリサーチを重ねてきた高須で八畳凧を
揚げる一大プロジェクト「大空凧プロジェクト」を
ついに本格稼働します。



高須で揚げたい！
大空凧の道①
(全4回)

風の魔力に
夢中!!
TAP農芸
ディレクター
岩間賢治



これから来年1月まで
かゆら板は3ヶ月に一度、高須のみなさんへ
風プロジェクトの状況を登信していきます
応援のほど、どうぞお願いします!!



発行：高須編集室（編集部員：幅谷）

お問い合わせ先

住所：〒300-1522 取手市高須 2156 高須ハウス

電話：0297-84-1874（火・金 13:00-17:00）

メール：tap-info@toride-ap.gr.jp

ホームページ：takasuhouse.com

主催：取手アートプロジェクト

助成：令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

/財団法人自治総合センター令和3年度地域の芸術環境づくり助成事業

新型コロナウイルス感染収束せず、いろいろな想いやお考えがあるのではないか。わたしの中にも悶々するようなことやこれまでにならないふわっとした気持ちが起きました。最近のうれしい発見は、高須の藁で「藁半紙」をつくれて、八畳凧の紙にできたりなどです。以前は別のところで田んぼなどしていまして、高須で米づくりをしてその藁から紙がつくりたいなと考えているのですが、どうすればすべての材料が整うにはあと1年ぐらいはかかるかもしれません。でも、「今」飛ばさないといけない。

高須公民館の前で撮影されたドームと大きく「高須」と書かれた凧の写真。「あ、コレ。コレだ。」材料をひとつひとつしていくと10年ぐらいはかかるかもしれません。しかし、この大空に高須のみなさんや高須に通う中で少しずつ縁ができる方々と一緒に飛ばせたら夢想がひらがったのです。八畳凧の他に六畳凧も大空で踊っていました。

年表にあるように時々お休みしていた時期もありますが、想いつて通じるんです。和紙をつくる場所ができたり、凧づくり名人や趣味の人とお会いでしたり、植物から絵画をつくれることを教えていただけたりと、少しすつですが凧の材料づくりができるようになりました。最近のうれしい発見は、高須の藁で「藁半紙」をつくれて、八畳凧の紙にできたりなどです。以前は別のところで田んぼなどしていまして、高須で米づくりをしてその藁から紙がつくりたいなと考えているのですが、どうすればすべての材料が整うにはあと1年ぐらいはかかるかもしれません。でも、「今」飛ばさないといけない。

ここからは、高須に通うことがはじまり早10年。「つくること・つかうこと」ってなんだろう。わたしたちが育ったこの地球を、ほんの少しでも次世代にしっかりとつなぐを残していくよ」として「ひだまりのひさん」のかな。という想いが強くなつたきっかけがこの高須です。

「なんで?」と聞かれればハツキリと言えないですが、草刈りをしていた時なのか。富士山が見えた時なのか。流しそうめんを駆走になった時なのか。夜中に高須公民館自販機で買った時なのか。消防団さんが訓練に励む姿を見た時なのか。ひだまりのひさんと出会った時なのか。

2022年
1月23日

八畳凧が高須の空に揚がる…!!

2020年



引き続き藝大ファクトリー・ラボからの協力を得て、取手校地にある竹と高須の藁を使用した和紙作りに成功。藝大食堂の耕すプロジェクトメンバー協力のもと、取手校地の竹を使って八畳凧の骨組みを試作。藝大と高須のものからつくる八畳凧の骨組みを試作。



東京藝大取手校地にある藝大ファクトリー・ラボの協力を受け、2013年から取り組んできた和紙作りを

専門家とともに再検討。凧の成形や凧揚げまで、専門家とともに凧づくりの一連の動きを確認し、「取手市とねがわ新春凧揚げ大会」に参加。

凧つくりの一連の動きを確認し、

子どもたちと紙を漉いて作った凧で、団体として「日本の凧の会長賞」を受賞! 凧つくりへの思いが、より一層募る。

2021年



2019年



高須公民館で八畳凧のプロジェクトの歴史を改めてリサーチ。高須に八畳凧と六畳凧の骨組みがまだ残っていたことを再確認。2022年に小貝川にて八畳凧を揚げることを決意。

高須のみなさんへご協力のお願い
2022年に高須でできた八畳凧を揚げるため
ご協力をお願いします。

1. ご自宅に凧の写真があれば複写させてください! (凧をつくる参考になります)
2. 凧にまつわる思い出を聞かせてください! (もっと高須の八畳凧・高須のことを知りたいです)
3. 凧の紙は、高須の藁をつかった藁半紙にするため、今年の収穫後に藁を分けてください! (凧の重要な部分である和紙を高須の藁で作りたいです)
4. 高須の植物や果樹などで絵の具をつくりたいと考えていますので、枝木など少しずつ分けてください! (時期などは改めてご相談に伺います)